

# すいさん山形

No. **340**

平成30年 / **5** 月号

山形県漁業協同組合  
広報誌

漁民と手をつなく広報誌

## 熊野神社例大祭

(堅苔沢地区)

4月29日



大漁祈願や商売繁盛等を願って、白装束に身を包んだ若き精鋭たちが熊野神社めがけて全力で堅苔沢町内を駆け抜けます。街並みが変わっても、変わらない祭りの風景です。



平成20年頃撮影

## 白山神社例大祭 神輿海中渡御

(由良地区)

4月29日



豊漁を祈願すべく、神輿を担いだ地元の若者たちが由良地区内を練り歩き、まだ橋がなかったころの名残で、そのまま白山島までの海を渡ります。まだ冷たい海を渡る姿は勇敢で見る者を圧倒します。

# 平成29年度 地区座談会開催

(前号の続き)

## 由良地区

3月10日(土) 午前10時  
出席者27名(内女性部3名)

- Q 中期経営計画にある内部留保のために、販売手数料の率を上げることはないか。
- A 組合員には負担をかけないようにはしていきたい。
- Q 6年後を目途に市場統合する方向と考えていいのかが。
- A 期限を決めないと進まない。3年で計画し、6年後を目途に実現したい。
- Q 上架台の建設はいつ頃と考えているか。
- A 県、2市1町への要望は毎年行っている。鶴岡市長からは、「現場のハード部であり前向きに検討する。県にも強く要望する」との話を頂いた。3月16日に酒田港事業計画説明会があるのでその席でも話をしたい。また、地元から出向き、要望することも必要と思われる。
- Q 由良の女性部数人で「庄内海丸」に惣菜を出荷している。当初、他の地区からも出荷すると聞いていたが現在も由良地区だけのような。頑張っているのもう少し手取りを多くしてもら



えないか。現状では手回賃にもならない。これでは継続していかない。

- A 加工場と相談し検討したい。
- Q 市場の脇に上屋を造る話はどうなっているか。
- A 通常の上屋だと建築確認が下りなかった。現在、移動式で計画しているのもう少しお待ち願いたい。
- Q 昨年と同程度の操業なのに、漁業権行使料が違うのはどういうことか。口座より徴収する場合、前年と違う場合は連絡してほしい。
- A 漁業権行使料は、地区総代会で決定しているものです。口座より徴収する場合で、前年と違う場合は連絡します。

## 加茂地区

3月10日(土) 午後1時30分  
出席者22名

- Q 平成13年より事務所の下が、荷受け・荷捌場となったが、旧市場が老朽化し、強風だと倒れないかと心配になる。大きな事故になる可能性もある。現地を見て早急に対応してもらいたい。
- A 解体計画を立て、収支を見ながら検討していきたい。
- Q 夏場の密漁防止活動を密漁が多くなる土・日曜日に実施してもらいたい。
- A わかりました。
- Q 組合員の減少は高齢による廃業等と思われるが、シユミレーシヨンで減少するとしているのは、乗組員なのか磯見等漁船業者なのか。新規就業者は何人いるか。
- A 高齢化による廃業・死亡だが、漁船の減少とは比例しない。漁船数は大きな変動はない。水揚げはそんなに減少しないと考えている。新規就業者は平成22年から34人で全国的にも多い方である。それに温海地区では会社を定年した人が、組合員となって増加している。

Q 底曳網・着火船は新規就業者もいると聞か、磯見漁業も地域で見守って指導していけば若い人とか高校卒業した人でも漁業に就業するのではないか。後継者不足も解消するのではないか。



A 今年の水産高校卒業生は、残念ながら漁業就業者はいなかった。来年以降期待したい。今後、後継者育成を頑張っていきたい。

## 豊浦地区

3月13日(火) 午前10時  
出席者37名(内女性部10名)

Q 市場統合を6年後を目途にするということだが、組合として資金を6年間積み立てていくのか。また、豊浦支所、施設も老朽化し危険なところもある。他

の支所も老朽化しているところがあると思うが、豊浦支所も計画に入れておいてもらいたい。

A 現在、経済システムの切替えの時期となっている。費用も多額となり5年償却となる。その後ということ、6年後を目途にした。組合単独では不可能であり、国の補助事業を引き出してこなければならぬが、これは前向きな計画でないと承認にならない。勉強・話合いの期間も必要だ。また、豊浦支所は昭和43年の建築で、当漁協で一番古い建物となった。建替えは難しいが補修は前向きに検討する。

Q リース事業等国の制度は、もっと早く情報がほしい。

A わかりました。

Q 船上で魚の扱いを良くし付加価値をつけるようにしているが、扱いのよくないものと一緒の値段となっていることがあった。仲買人にも広く情報を発信しアピールしてもらいたい。

A 継続してもらいたい。それによりお客(仲買人)が付いてくる。

Q 市場統合は、漁協単独では無理である。補助事業を使うことになるが、補助をもらうには、時間がかかる。今から方向性を決めて進んでいったほうが良い。相当なリスクもある。浜・仲買人の意識改革、販売強化などが

ないと10年後には重荷になる。量ではなく、質で価値を売ることを考えなければならぬ。

A 漁業者を入れて検討委員会を発足することを検討したい。

Q 以前の国の補助事業は、同じ馬力のエンジンは対象にならなかった。今回の事業の内容を周知してもらいたい。

A 座談会、すいさん山形にも載せていた。機関換装等計画がある方は、相談に来てもらいたい。

Q 毎年、共済のノルマがあるようだが、漁業者も少なくなり高齢化しており、達成は難しいのではないか。

A 共済も事業として利益がある。漁業者は高齢化し推進も厳しいものがあるが、業者等に推進も行ってほしい。引き続き共済は推進していきたい。ご理解願いたい。

Q 第5次中期計画は、繰越欠損金解消に向けてのもので無事解消した。今回の第6次中期計画は、チャレンジする漁協としてもらいたい。今までは、お話しするような話の場合、漁業者の後から漁協が出てきていた。足元を拘われることのないようにしてもらいたい。

A わかりました。



### 飛島地区

3月28日(水) 午前11時  
出席者13名(内女性部0名)

Q 3月にアワビをメガイ、クロアワビ、小と分けて出荷したが全て同じ値段だった。競売でタンクの中を見せて売っているのか。

A 以前は段ボールで出荷して職員が選別していたが、今はタンクに水を入れ、活かして出荷している。競売時は、当然仲買人が見てチェックし買っている。水が汚く死んだもの、キズのあつものなどで同じ値段になったと思われる。

Q 値段に反映するようにもう少し努力してもらいたい。

A わかりました。



Q 競争力強化型機器等導入緊急対策事業は、操舵機は対象になるのか。

A 現在は、対象外となっている。

Q 一度この事業で導入した人は、再度この事業の対象となるか。

A 導入機器の償却期間中は、対象外となっている。

Q 飛島は、魚箱に運賃がかかっており負担額が大きい。値段を下げる等できないか酒田市に要望してもらいたい。

A 農林水産部門ではないので、なかなか話が進まない。いろいろな筋から要望していきたい。

Q 使用出来ない網の処理をどうしたら良いか。

A 以前から酒田市にお願いしており、酒田まで運ぶことは可能だが、その後の焼却場までの運搬について話が進まない。再度要望していきたい。

# 人事異動のお知らせ

## 山形県漁業協同組合

◆異動(平成30年4月1日付)〔は旧所属〕  
 佐藤 善隆 事業部長兼さかた総合市場長  
 (念珠閣総括支所長)

佐藤 修 念珠閣総括支所長  
 (由良総括支所長)

阿部 勝樹 豊齋斎長産嘉士特剪下(子一)  
 (水産加工工場長)

大淵 敬三 信用共済課長  
 (信用共済課長代理)

江口 正幸 購買課長  
 (信用共済課長)

安藤 大栄 販売企画課長  
 (購買課長)

本間 祐輔 水産加工工場長  
 (販売企画課長)

長瀬 光由 豊浦支所長代理  
 (豊浦支所係長)

佐藤 嘉高 さかた総合市場係長  
 (由良総括支所)

石川 拓也 由良総括支所  
 (さかた総合市場)

阿部 幸子 信用共済課  
 (由良総括支所)

齋藤 佑紀 由良総括支所  
 (指導課)

五十嵐加奈 豊浦支所  
 (念珠閣総括支所)

◆退職(平成30年3月31日付)  
 佐藤 研 (事業部長兼さかた総合市場長(定年退職))  
 土田 真一 (指導課)(定年退職)

◆新規採用(平成30年4月1日付)  
 伊藤 友裕 由良総括支所

◆定年退職者再雇用 採用・転属  
 (平成30年4月1日付)  
 佐藤 研 事業部採用  
 事業推進専門員(専門職待遇)  
 指導課転属  
 高橋 茂喜 指導専門員(専門職待遇)  
 指導専門員(専門職待遇)  
 遠藤 順哉 念珠閣総括支所事業推進専門員  
 (温海出張所駐在)(専門職待遇)  
 土田 真一 指導課採用

嶋屋 艶 念珠閣総括支所転属

◆嘱託職員採用(平成30年4月1日付)  
 石塚 雅志 (加茂出張所)  
 小川 美和 (指導課)

## 日本漁船保険組合 山形県支所

◆昇格(平成30年4月1日付)  
 鈴木 信也 統括課長(統括課長代理)  
 菅原 達矢 統括課主任(統括課主事)

## 全国合同漁業共済組合 山形県事務所

◆昇格(平成30年4月1日付)  
 佐藤 公一 所長(兼秋田県事務所所長)  
 (副所長)

◆辞任(平成30年3月31日付)  
 本間 昭志 (所長)

## 山形県漁業信用基金協会

◆退職(平成30年3月31日付)  
 佐藤 和彦 (参事)

## 山形県水産関係職員

(平成30年4月1日付)〔は旧所属〕

●庄内総合支庁産業経済部水産振興課  
 相馬 功 課長補佐  
 (庄内総合支庁保健福祉環境部環境課 課長補佐)

本間 都 総務主査(兼)総務係長  
 (庄内総合支庁保健福祉環境部保健企画課 総務主査)

大川 恵子 主任専門水産普及指導員  
 (兼)水産振興主査  
 (農林水産部水産振興課 水産企画振興主査)

鎌田 博輝 主任専門漁業無線通信士  
 (主任漁業無線通信士)

星川由紀子 主査(総務係)  
 (庄内総合支庁産業経済部農産振興課 主査地域農政担当)

安達 武志 主査(漁港整備担当)  
 (庄内総合支庁建設部道路計画課 主査道路整備担当)

田中 亨 技師(漁港整備担当)  
 (農林水産部計画課 課長技師(富城漁港・仙台地方振興事務所))

## ●県庁 農林水産部水産振興課

大川 学 課長補佐  
 (農林水産部水産振興課 課長補佐(農産振興担当))

加賀山 祐 課長補佐(水産企画振興担当)  
 (内水面水産試験場 副場長)

星川 知昭 課長補佐(水産加工・流通担当)  
 (企画振興部情報政策課 課長補佐(ICT企画担当))

東谷 一義 課長補佐(漁港漁場担当)  
 (村山総合支庁建設部西川山河川砂防課 河川専門員)

桜井 浩美 水産加工・流通主査  
 (加工流通主査)

栗木 達也 主査  
 (県土整備部建築任事課 主査(住まいづくり支援担当))

## ◆新規採用

古山 遥 技師

## ●水産試験場

本登 涉 副場長(兼)浅海増殖部長  
 (農林水産部水産振興課 課長補佐(技術))

小野 至 総務課長  
 (庄内総合高等学校 事務部長)

塚形 馨 主任専門航海士  
 (主任航海士)

高澤 俊秀 海洋資源調査部長兼資源利用部長  
 (兼)農業技術環境課環境温暖化技術専門員  
 (主任専門研究員(浅海増殖部))

小野寺真二 通信長  
 (主任通信士)

高木 牧子 専門研究員(資源利用部)  
 (専門研究員(海洋資源部))

工藤 充弘 研究員(浅海増殖部)  
 (庄内総合支庁水産振興課 水産普及指導員)

※資源利用部を新設。海洋資源部は海洋資源部調査部に改称。

◆常勤再任用  
 平野 央 専門研究員(資源利用部)  
 (副場長(兼)浅海増殖部長)

## ●内水面水産試験場

荒木 康男 副場長(兼)資源調査部長  
 (資源調査部長)

板本 健児 生産開発部長  
 (水産試験場 海洋資源部長)

※他公所への転出者につきましては、掲載を省略させて頂きましたのでご了承願います。

## 新人紹介



由良総括支所  
 伊藤 ともひろ 友裕

4月1日付で由良総括支所に配属となりました、伊藤友裕です。昨年の9月より由良総括支所でアルバイトをさせて頂いており、春より本採用となりました。

私の生まれは由良で、祖父、父共に漁業に就いておりました。しかし、食べる専門であったこともあり魚の知識は乏しく、職員、地域の皆様に教えていただいていた毎日です。本当にありがたうございます。現場仕事に事務仕事、どちらもまだまだ未熟でご迷惑をおかけしておりますが、庄内浜が持つ魅力を、より多くの県内・全国の人々に伝え、庄内浜のおいしい魚を広めていきたいと思っております。

そのためにも日々の業務に責任をもって誠実に取り組む、明るく誠実な対応を心がけてまいります。

また、魚の旬やおいしい食べ方、調理方法だけではなく様々な知識を身に付け、一人前の漁協職員となるように努めていきます。

今まで支えてくださいました組合員・地域の皆様、そして庄内の海に恩返しができるよう精一杯努めて参りますので、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

●万一も 保険があれば 一安心 大きな出費も 小さい負担

# 理事会情報

平成29年度 第9回 理事会議案  
開催日…平成30年3月27日(火)  
場所…本所 第一会議室

## 【協議事項】

- 1 第53事業年度通常総代会の開催と議長選出について
- 2 平成29年度決算方針(案)について
- 3 平成30年度における貸付金利率の最高限度額及び同一人に対する信用供与等の最高限度額について
- 4 余裕金の預け入れ先の決定について
- 5 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 6 平成30年度コンプライアンス・プログラム(案)について
- 7 平成30年度内部監査計画書(案)及び職員研修計画(案)について
- 8 漁業者団体代表者変更による組合員資格審査委員の承認について
- 9 平成30年度販売掛金与信極度額の承認について
- 10 平成30年度における理事の購買売掛限度額設定(案)について
- 11 平成30年度潜水漁業(すもぐり)の制限について
- 12 基幹業務システム(A-VIX)入替え購入について

## 【報告事項】

- 1 平成30年度2月末現在の状況について
- 2 平成29年度地区座談会開催状況について
- 3 組合員の加入・脱退について
- 4 人事異動の内示について
- 5 その他

平成30年度 第1回 理事会議案  
開催日…平成30年4月24日(火)  
場所…本所 第一会議室

## 【協議事項】

- 1 平成29年度資産自己査定による償却・引当金の決算計上について
- 2 平成29年度事業収支状況について
- 3 農林中央金庫預金施設の見直しと資本政策への対応について
- 4 第6次中期経営計画について
- 5 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 6 定款の一部変更について
- 7 組合員資格審査委員会の答申について
- 8 潜水器使用による採捕について
- 9 リキッドフリーザー凍結器リース契約について
- 10 日本漁船保険組合山形県支所運営委員の選任について

## 【報告事項】

- 1 債権管理委員会の報告について
- 2 平成30年3月末における資金運用状況について
- 3 平成29年度さけ海中飼育実績報告について
- 4 平成29年度漁業権行使料徴収実績について
- 5 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 6 水揚優秀船の表彰について
- 7 平成29年度第4四半期の「庄内海丸」の収支について
- 8 組合員の加入・脱退について
- 9 平成29年度地区座談会開催状況について
- 10 その他

# 総会・総代会の日程

## ● 山形県漁業協同組合

《通常総代会》六月二十六日(火)

午前十時 本所・講堂

尚、午前九時より水揚表彰式を行います。

## ● 日本漁船保険組合

《通常総代会》六月十八日(月)

午後二時三十分

(東京都) ホテルグランドパレス

## ● 山形県漁業信用基金協会

《通常総会》六月二十六日(火)

午後一時三十分

漁協本所・講堂

## ● 全国合同漁業共済組合

《通常総代会》六月二十一日(木)

午後三時

(東京都) KKRホテル東京

## ● 全国共済水産業協同組合連合会

(共水連)

《通常総代会》七月二十六日(木)

午後一時三十分

(東京都) コーピビル

# がんばっています

久しぶりの「がんばっています！」のコーナーですが、今回は新規に漁業就業した期待のホープ！をご紹介します。海が大好きなお二人に海の幸あれ!!



由良支所  
阿良 賢二 さん

元々海が好きで、高校卒業後は造船所に5年間勤務。休みのたびに、地元の知人から船釣りをさせてもらう日々を送っていましたが、本格的に漁業をしたいという気持ちが強くなり、漁業の道へ。長海丸の船頭となり、はえ縄漁を営んでいます。「姉の子供に獲った魚を持っていくと、とても喜んでくれ、おいしいと言って、より沢山食べてくれるようになった事が何よりうれしい」とは阿良さん談。



豊浦支所  
本間 祥 さん

釣りが趣味で、堅苔沢に移住してきてからはなおさら釣りや海への思いが強くなったとの事。漁師になりたいなあと、ある時友人に相談したところ、チャンスをいただき一念発起。10年勤めた建設業から漁業の道へ。第三十八明祥丸の船頭となり、はえ縄漁を営んでいます。「魚が揚ってきたときの喜びは何にも代えられない嬉しさがあります。大漁目指してガンバリマース!」とは本間さん談。

## 飛島地区 海藻ビジネス事業実務研修会



アカモクの選別

酒田市の離島漁業再生支援事業の一環で、飛島地区に自生する「アカモク」を対象とした海藻ビジネス事業実務研修会が3/28に飛島支所にて行われました。ホンダワラ科のこの海藻、船のスクリューや漁網に掛かりやすく「邪魔モク」など言われておりましたが、飛島地区ではギバサ・シオゴモ・アカモクと、種類を分けて古くから食されておりました。その中でも今回対象とする「アカモク」は、機能性の高さが注目されております。脂肪燃焼効果があるフコキサンチンが他の海藻に比べて非常に多く含まれてることや、免疫力を高める効果があるフコダイン。更には悪玉コレステロールを抑制する働きがあるポリフェノールや食物繊維が豊富と、まさに医者要らず?のような海藻で、全国的にも近年盛んに収穫・販売されております。この「アカモク」のように粘り強く、長く続く漁業と飛島の離島再生を期待し、由良水産加工場にて商品を作り上げ、地産地消に取り組んでまいります。

## 「海の羽根」募金にご協力をお願いします!

山形県海と渚環境美化推進協会では、海的环境美化を目的とした海の羽根募金活動を行います。

実施期間 7月1日から7月31日までの1か月間

募金場所 市役所、町役場、庄内総合支庁、県漁協など

未来につなげよう

青い海と  
美しい渚

お問い合わせ先  
庄内総合支庁 水産振興課内  
山形県海と渚環境美化推進協会  
事務局 担当：今野  
TEL 0234-24-6041

豊かな山形県の海を守るため、  
皆様からのご協力を  
よろしくお願いします。

# 水揚情報

平成30年4月30日現在

(単位：千円)

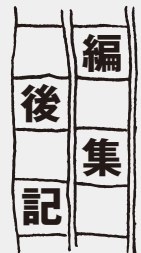
区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
月末迄水揚累計		0	0	0	0	0	0	0	0	0
月間水揚	県内船水揚	109,275	5,359	2,930	22,170	16,190	19,368	10,265	3,763	29,230
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	<b>109,275</b>	<b>5,359</b>	<b>2,930</b>	<b>22,170</b>	<b>16,190</b>	<b>19,368</b>	<b>10,265</b>	<b>3,763</b>	<b>29,230</b>
前年同月水揚		153,706	7,636	5,785	31,607	11,943	25,270	16,349	6,251	48,865
本年度水揚	県内船水揚	109,275	5,359	2,930	22,170	16,190	19,368	10,265	3,763	29,230
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	<b>109,275</b>	<b>5,359</b>	<b>2,930</b>	<b>22,170</b>	<b>16,190</b>	<b>19,368</b>	<b>10,265</b>	<b>3,763</b>	<b>29,230</b>
前年度水揚累計		153,706	7,636	5,785	31,607	11,943	25,270	16,349	6,251	48,865
増減		-44,431	-2,277	-2,855	-9,437	4,247	-5,902	-6,084	-2,488	-19,635

# 平成29年度水揚高

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
本年度水揚	県内船水揚	2,406,308	105,358	100,412	939,778	150,073	333,297	200,694	38,497	538,199
	県外船水揚	728,532	0	0	715,481	0	1,181	0	0	11,870
	合計	<b>3,134,840</b>	<b>105,358</b>	<b>100,412</b>	<b>1,655,259</b>	<b>150,073</b>	<b>334,478</b>	<b>200,694</b>	<b>38,497</b>	<b>550,069</b>
前年度水揚累計		3,624,720	125,360	110,049	2,054,356	135,937	323,710	215,987	71,229	588,092
増減		-489,880	-20,002	-9,637	-399,097	14,136	10,768	-15,293	-32,732	-38,023
本年度水揚計画		2,900,000	120,000	105,000	1,375,000	128,000	313,000	209,000	72,000	578,000
達成率		108.0%	87.7%	95.6%	120.3%	117.2%	106.8%	96.0%	53.4%	95.1%



○五月に入って鳥海山に種まき爺さんの姿が見えると、庄内平野では田植えの時期を迎えます。この時期は、暖かい日が続いたかと思えば、冬に逆戻りしたかのような寒さを感じます。体調の管理には十分留意したいものです。

○表紙には庄内浜に春の訪れと、大漁を願う例大祭の様子が掲載されております。どちらも地元若者たちの躍動感が伝わっており、今後の豊漁を願うばかりです。

○平成二十九年度地区座談会では、組合員の皆様から貴重なご意見をいただきました。今後の浜の発展に活かせるよう努力してまいります。

○今月号には、当組合と水産関係団体の人事異動、山形県女性部新部長さんの記事も掲載されております。「浜の元気」は、「女性部のお母ちゃんの元気」といっても過言ではありません。今後の様々な活動に期待しております。

○今年も鼠ヶ関大漁旗フェスティバルが五月五日、盛大に開催され大勢のお客様が地元の鮮魚等を目当てに来場しました。この様な活動が『庄内浜鮮魚』のPRに大きく貢献している事と思えます。フェスティバルの運営関係者の皆様大変ご苦労様でした。

○すいさん山形では、今年度も皆様からの「ご意見・ご指導」を賜りながら、より良い広報誌を目指してまいります。

購買課長 江口 正幸

● 海難は 慣れと心の 油断から

## 新部長紹介



山形県漁協女性部  
佐藤 初子

このたび、山形県漁協女性部の部長に就任いたしました佐藤初子です。昭和41年より山形県漁協婦人部酒田支部に加入、平成16年に漁協女性部酒田支部長に就任し、その後平成20年より8年間山形県漁協女性部副部長を務めてまいりました。また、現在は山形県認定の「庄内浜文化伝道師マイスター」として、地魚の消費拡大や魚食普及のための活動をしております。

漁協女性部では、魚の森づくり下草刈りボランティア活動や庄内浜クリーン運動、LGL（ライフ・ガード・レディーズ）救命胴衣着用推進運動、加工に取り組む浜の女性向け研修会・料理教室など、女性ならではの活動を部員同士の交流を深めながら、楽しく生き生きと行っております。女性部活動を通じて地域社会に貢献することには、大変喜びとやりがいを感じます。

今後も、庄内浜の豊かな海を守り育てていくため、より一層活動の充実を図りたいと考えておりますので、関係各位の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。



今年で27回目を迎えた鼠ヶ関大漁旗フェスティバルが5月5日(土)の「こどもの日」に鼠ヶ関漁港にて開催されました。朝は雨風が強く、一時はどうなることかと思いましたが、幸い開催前には太陽が顔を出すようになり、天気は次第に回復しました。

市場前には、開場前から大勢のお客様が長蛇の列をつくっており、開場すると、我先に鮮魚を買い求めていました。中でもエビやカニは大変な人気で、間もなく売り切れとなりました。「鮮魚詰め放題」では、鮮魚が入った桶を大勢のお客様が囲み、袋がパンパンになるまで魚を詰めていました。

朝は少し肌寒い気温だったこともあり、エビ汁やアンコウ汁が人気で、お客様は山盛りの具に驚きながら舌鼓を打ち、体を温めていました。

「魚のつかみ取り」では、子供たちがびしょ濡れになりながら、ワラサやヒラメなど泳ぎ回る魚を元気に追いかけて、開場には歓声がかたまっていました。